

広島県立文書館における資料の画像データ公開について

—西部復興関連資料を例として—

宇 都 綾 子

【要旨】 当館が所蔵している広島市の戦災復興土地区画整理事業（西部復興）に係る換地図とその関連資料について、今年度から画像データでの資料公開を開始した。その経緯を振り返りながら紹介し、よりよい資料公開の方法を探る。

はじめに

- 1 戦災復興土地区画整理事業と当館収蔵文書
 - 2 画像データ公開に向けた作業
 - 2-1 現状把握と目録作成
 - 2-2 現在の町名との照合
 - 2-3 検索の方法
- おわりに

はじめに

広島県立文書館では、広島市の戦災復興土地区画整理事業（西部復興）に係る換地図とその関連資料を所蔵している。これまでは原資料を閲覧に供していたが、令和7年（2025）8月1日から同資料の画像データによる公開を始めた。これは、頻回の利用による資料の劣化を防ぎ、同時に利用者の利便性を高めることを目的としている。本稿では、画像データ公開に至るまでの準備及び具体的な手順と検索の方法を紹介する。

1 戦災復興土地区画整理事業と当館収蔵文書

戦災復興土地区画整理事業は、原子爆弾によって壊滅的な被害を受けた広島市中心部の半径2kmに及ぶ面積約1,520haを対象として、その区域を二分し、東部を広島市、西部を広島県が担当することとして計画・施行された。

事業期間は昭和21年（1946）10月から昭和47年（1972）1月までの25年以上に及び、最終的な施行面積は1,093haに縮小されたものの、本事業による土地区画の整理・確定は復興において大きな役割を担い、戦後の広島市の

発展の土台となった。

当館が所蔵している広島復興事務所（のちの広島都市計画事務所、現在の西部建設事務所）の行政文書は1,058冊あり、主な内容としては、換地図面や測量計算書のほか、換地計画及び契約に関する資料や陳情書、各工区における審議会・補償に関する資料なども含まれている。これらは平成17年（2005）11月10日に広島地域事務所建設局より受入れ後、文書館にて整理を行い、平成24年（2012）6月1日より閲覧に供している。この内、換地図と測量計算書等を、令和3年度から5年度にかけて電子データ化した。これは、広島復興事務所文書の中でも特に利用の多い文書で、計69冊分（=PDFで69ファイル）ある。なおこの電子データには、同事務所が担当し、昭和32年から45年までに実施された大芝地区の土地区画整理事業の関係文書（換地図等）も含まれており、これらの文書も今回の画像データ公開の対象とする。

2 画像データ公開に向けた作業

2-1 現状把握と目録作成

各ファイルは10ページに満たないものから500ページ弱のものまで様々あり、合計すると約9,500ページ、容量は約15GBであった。画像データの閲覧方法は、館の規定に沿い、慎重を期して文書館内の閲覧室のパソコンのみで資料を閲覧してもらう方法をとる。ファイルのサイズが大きく、パソコン本体に画像データを置くと動作に影響を及ぼす可能性があるため、外付けのHDDで対応することとした。

はじめに、対象ファイル全てのページに番号を付与した。これは、利用に供する際に、利用者との間で対象ページの認識に齟齬をおこさないために行った。付与のルールは、資料の内容にできるだけ干渉せず、かつ視認しやすい位置に一律で記載することとして、今回は「請求番号_ページ番号」を各ページの右下に追加した。

各ファイルは、一部の例外を除き「確定図」・（舟入地区）などのように、内容・地区ごとに作成されている。そのため、例えば「西川口町」の「確定図」を閲覧したい場合、「西川口町」が含まれている（舟入地区）全体の「確定図」から該当箇所をすべて探す必要がある。この例でいうと、これまでは「確定図」（舟入地区）のファイルである「S01-2012-572」及び「S01-2012-573」

及び「S01-2012-574」の、3冊合計184ページをめくって目的の資料を探さなければならなかった。さらに、年月を経た紙資料のため、取り扱う際には破損しないよう注意を払う必要があり、利用者には目的の資料を探すだけで大きな負担がかかってしまっていた。このことも改善するべく、以下の項目を含む簡易目録を作成した。

1. 地区
2. 地区内のブロック番号
3. 文書の種類
4. 内容

1. 及び2. は、図面作成当時の名称を使用した。3. はファイル1冊を通しての文書の種類¹、4. に、具体的な内容²を標記した。

「S01-2012-532_264」を例にとると、下記のようになる（図1）。

1. 舟入地区
2. 26
3. 測量計算書
4. 図面

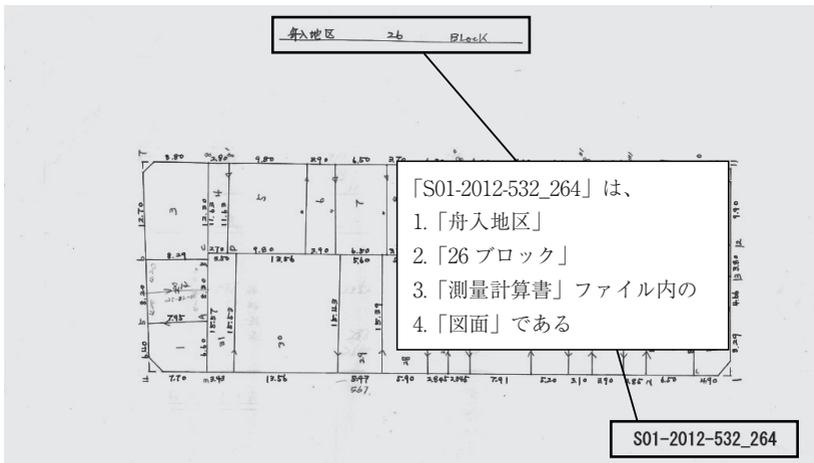


図1 「S01-2012-532_264」の例

¹ 「確定図」、「従前図」「測量計算書」などがある。

² 3. 「測量計算書」ファイルの中には、例にあげた「図面」以外にも「トラバ集計表」「経緯距面積計算表」「各筆面積計算一覧表」など、各種計算表や関連資料が含まれる。これらの内容を4.に記載した。

2-2 現在の町名との照合

今回の対象資料において、前述の簡易目録1.の「地区」は8つに分けられる。その8つの地区内をさらに現在の町名に分類した。各ファイル1.～4.の項目を完成させたのち、2.のブロック番号と地図を基にして現在の町名と照合する作業を行った。基にした地図は「S01-2012-627」内の資料を使用した。上記の例でいうと、「S01-2012-532_264」の場所は現在の「舟入中町2」に該当するため、町名での分類の場合「舟入中町」に属することがわかる(図2)。



図2 ブロック番号で照合すると「舟入中町2」に該当

このことにより、目的箇所の絞り込みを容易にできるようにした。先に挙げた「西川口町」の「確定図」を閲覧したい場合の例でいうと、19ページ分のみ閲覧すれば目的の場所の資料に辿り着けるようになった。

また、一部現在の区画と異なる場合は、含まれる町名に重複して分類登録し、どちらで検索しても表示されるようにした。例えば「S01-2012-571_66」で描かれている「鷹匠地区」の「確定図」の場所(ブロック番号65)は、現

在の「榎町」と「堺町」の両町にまたがっているため、「榎町」と「堺町」どちらで検索しても結果に表示されるようにしている（図3）。これにより、ファイルを重複して登録する必要があるため、サイズが更に大きくなることを加味して必要な容量のHDDを用意した。

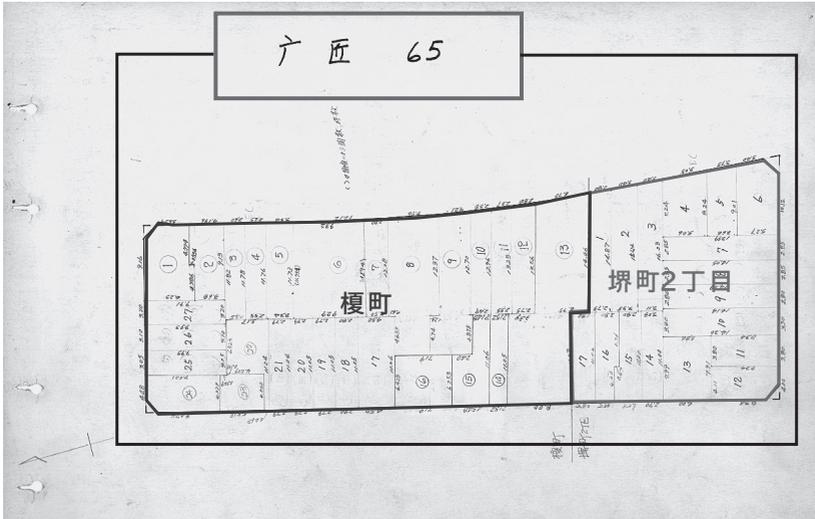


図3 「鷹匠地区65ブロック」は現在の「榎町」及び「堺町」にまたがっている。「榎町」「堺町」どちらでも検索可能

2-3 検索の方法

検索の方法としては、いくつかの方法を選択できるよう作成した。本資料に関しては、土地家屋調査士等の方々が土地境界を確定するための参考資料としての利用が多くあるため、現在の町名や地図からの絞り込みが容易なように作成した。

検索画面のトップページに、地区名と町名・旧町名をまとめた表（図4）を作成すると同時に、地図からも目的の場所を探せるよう簡単な地図（図5）も作成した。トップページの「全地区の目録を見る」からは、各文書の内容を簡単にまとめた目録を全地区分閲覧でき、任意の文字検索も可能である。なお、現町名と旧町名との照合には「S01-2012-942」の資料を使用している（図6）。

工区	番号	地区名	現町名	旧町名
西部 一工区	①	三篠・横川地区	三篠北町(一部)	楠木町1~4丁目, 三篠本町1~3丁目, 横川町1~3丁目, 打越町, 三瀧町
			大芝町	
			楠木町1~4丁目	
			三篠町1~3丁目	
			三瀧町	
			打越町	
			横川町1~3丁目	
横川新町				
②	中広・天満地区	中広町1~3丁目	上天満町, 中広町, 天満町, 西天満町, 東観音町1丁目(一部), 西観音町1丁目(一部)	
		上天満町		
		天満町		
		観音町		
		春日町		
		小河内町2丁目(一部)		
③	隠匠地区	寺町	寺町, 広瀬北町, 広瀬北町北組, 空鞆町, 隠匠町, 西引御堂町, 広瀬元町, 錦町, 西九軒町, 新市町, 横塚町, 北横町, 鍛冶屋町, 左官町, 十日市町, 油屋町, 猫屋町, 榎町, 西大工町, 堺町1~4丁目, 塚本町, 西地方町, 西新町, 小網町(一部)	
		広瀬北町		
		本川町1~3丁目		
		十日市町1~2丁目		
		広瀬町		
		西十日市町		
		榎町		
		猫屋町		
		堺町1~2丁目		
		土橋町		
		小網町		
④	観音地区	東観音町	東観音町1(一部)~2丁目, 西観音町1(一部)~2丁目, 南観音町	
		西観音町		
		観音本町1~2丁目		
		南観音町※南観音1丁目以南はなし		
⑤	舟入地区	河原町	舟入町, 河原町, 舟入仲町, 舟入本町, 舟入幸町, 舟入川口町, 小網町(一部), 西新町(一部), 西地方町(一部)	
		舟入町		
		舟入中町		
		舟入本町		
		舟入幸町		
		舟入川口町		
西川口町※舟入南以南はなし				
⑥	中島地区	中島町	材木町, 木挽町, 天神町, 中島新町, 水主町, 吉島町, 吉島羽衣町	
		加古町		
		住吉町		
		羽衣町		
		吉島町※吉島西以南はなし		
西部 二工区	⑦	小河内・福島地区	小河内町1~2丁目(一部)	南三篠町, 福島町
			福島町	
大芝地区	⑧	大芝地区	大芝1~3丁目 三篠北町(一部) 楠木町4丁目(一部) 大宮1~3丁目	楠木町4丁目(一部), 三篠北町(一部), 大宮1~2丁目, 大芝1~2丁目, 安佐郡御園町大字長束(向地)

図4 検索トップページ (地区名から探す場合)

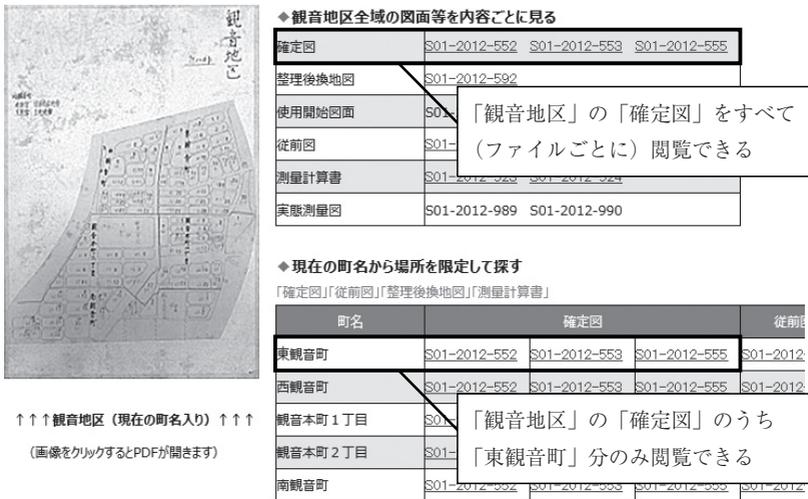


図5 検索トップページ（地図から探す場合）



図6 「S01-2012-942」資料内の地図（例：鷹匠地区）
旧区界とともに、旧町名が記載されている

また、それぞれの地区ごとのページでは、文書の性格（内容）ごとに探すことができ、かつ町名で絞り込めるように作成した（図7）。ブロック番号との照合に使用した「S01-2012-627」の地図画像をそれぞれの地区ページへ追加しており、拡大して細かい場所を確認することもできる。但し、「従前図」等換地整理前の図面に関してはブロック分けが現在のものと大幅に異なっているため、今回は町名での分類は見送り、地区ごと（簿冊ごと）の登録のみに留めた。今後、利用者からの要望が多くあれば追加を検討したい。また、調べたい場所が広範囲にわたる場合などは、各ファイルを丸ごと一冊デジタルで閲覧することも可能である。



◆観音地区全域の図面等を内容ごとに見る

確定図	S01-2012-552	S01-2012-553	S01-2012-555
整理後換地図	S01-2012-592		
使用開始図面	S01-		
従前図	S01-		
測量計算書	S01-2012-989 S01-2012-990		
実態測量図	S01-2012-989 S01-2012-990		

「観音地区」の「確定図」をすべて（ファイルごとに）閲覧できる

◆現在の町名から場所を限定して探す

「確定図」「従前図」「整理後換地図」「測量計算書」

町名	確定図			従前図
東観音町	S01-2012-552	S01-2012-553	S01-2012-555	S01-2012-
西観音町	S01-2012-552	S01-2012-553	S01-2012-555	S01-2012-
観音本町1丁目	S01-			
観音本町2丁目	S01-			
南観音町	S01-2012-552	S01-2012-553	S01-2012-555	S01-2012-

「観音地区」の「確定図」のうち「東観音町」分のみ閲覧できる

↑↑↑観音地区（現在の町名入り）↑↑↑
（画像をクリックするとPDFが開きます）

図7 地区ページの例（観音地区）

おわりに

今回実施した画像データ公開により、画像の拡大・縮小やページめくりをマウス操作で簡単に行うことが出来るようになり、図面の数値や名称など細かい書込み部分の閲覧も容易となった。また、基本的に原資料を直接触ることがなくなるため、資料の劣化も抑えることが出来る。資料の内容や利用目的により向き・不向きはあるが、画像データでの公開は資料保存と使いやすさの向上を両立できる方法のひとつであるといえる。

資料のデジタル化には費用や時間もかかり、今回の方法では追加の電子機器なども必要となるため、一律で同じ方法をとることは困難ではあるが、「いつでも、だれでも利用しやすい」文書館であるよう、資料公開の方法のひとつとして今後の検討をすすめたい。今回の取り組みが多くの方々の利用の一助となれば幸いである。

（うと あやこ 文書等整理従事員）

